

「絵画の制作 A」 幼児・児童教育学科准教授 武石 英孝  
第 2 回目を 6 月 21 日 に実施しました。



今日の講座もクロッキーからスタートしました。最初は腰に手を添えた立ちポーズ、次は椅子に座り足を組んだポーズ。2 ポーズを、それぞれ 10 分間で描きました。

クロッキーとは、クロックドローイングとも呼ばれる描き方で、限られた時間で素早く対象の形をとらえる、絵の練習のことを言います。運動でいう準備運動のような役割もあります。

左は受講生の作品です。

「線にもリズムがあると動きが取りやすくなり、強弱があると生きた線を描けます。」

「頭の中に方眼を作りましょう。描いた構図が気に入らないときは、躊躇なく描き直す勇気も必要ですよ。」



後半は前回の続き、タブロー(完成作品)へ向けてのデッサンをしました。

